

おいらの エーデル

Oirano love edel vol.2

エーデル土山ショートステイ通信

いつもエーデルのショートステイ通信『おいらのエーデル』をご覧いただき、まことに有難うございます。先月の『創刊号』は非常に大きな反響がありました。まさに『予想外』の好評であり、大変嬉しく思います。少しでもエーデル土山のショートステイを知ってもらいたいという一心で、今後も様々な情報を提供していきたいと思えますので、是非ともご一読のほどよろしくお願い申し上げます。

エーデルからのお知らせ。

エーデルのショートステイでは、5月にサービスマンを利用して下さった方に、『カーネーション』を皆さんと一緒に制作させてもらい、お持ち帰り頂きました。

カーネーションといえば、母の日に贈る花です。ご利用者の皆様方にとって、母親は、すでに他界されており、記憶の中で笑っておられるという存在でもありません。

我々は、そんな大切な母親の記憶を、少しでも思い出していただけたんではないかなと、カーネーションづくりを一緒に感じました。おかげ様で、ご家族様にも喜んでいただくことができました。

紙で作ったカーネーションですが、一杯の想いが込められた作品です。普段、言えなかったありがとうを一緒に言えた。そんな気持ちになれたカーネーション作りでした。



エーデル ショートステイの5月の『おたのしみ』

5月になって気候もおだやかになってきたところで、ショートステイでは、おやつとして『たこ焼き作り』と『ホットケーキ作り』を行いました。

市販されているおやつも良いけど、自分達で苦労して作ったおやつは、また格別です。おやつ作りの醍醐味は、出来上がるまでの匂いやワクワク感です。一部、焦げてしまったものもありましたが、そこはご愛敬。ショートステイの共有スペースがお菓子作りの楽しさで充滿していました。

エーデルでは今後も、季節のお菓子作りをしていきたいと考えておりますので、どうぞご期待下さいね。

エーデル ショートステイの職員配置について

ショートステイは、短期間、施設にご宿泊していただくサービスです。ご利用者にとっては、ご家族と離れられることにご負担を感じてしまわれる方もおられます。

わたくしどもは、それらの心的負担を少しでも和らげるため、ショートステイのスタッフを増員いたしました。従来よりも、スタッフ数が充実したため、前述いたしました、お菓子作りやカーネーション作りなどのイベントも行えます。スタッフとご利用者が、顔見知りとなることで、より一層、心配のないサービスを提供してまいりたいと考えております。



奥村哲弥のコラム 第2回 『時間の感覚』

早くも6月になるうとしていいる。つい、この間、新年を迎えたばかりなのに、もう半年が経とうとしていいる。「この時の早さ。光陰矢の如しとはよく言ったもので、時間の経過はまるでジェットコースターのような勢いで駆け抜けていく。」

今回のコラムは、この時間の早さというものについて考えていきたいと思う。

ある高説にこういったものがある。時間の感覚というのは、年齢によって異なる。子どもの時の一日は途方もなく長く感じるが、成人してからの一日はあつという間に過ぎてしまう。それは、歳を重ねれば重ねるほど、傾向が強まる。つまり、年齢が高ければ高いほど、時間の流れが早くなるということらしい。ちなみにそれは『時速』として考えられ、一歳であれば時速1キロ、30歳であれば時速30キロというぐらい、時間の感覚がちがうといった中身だ。たしかに、幼少のころを思い出してみれば夏休みは、永遠に続くのではないかというほど、長く感じたし、遠足や修学旅行の日は待ち遠しくて、なかなか、来なかつた。同じ1年という時間の尺度も、子どもの時と成人とは全く違つのだ。

……年齢を時速に換算する。じゃあ、80歳の方は『時速80キロ……』ということになるではないか。僕が30歳なので、およそ2.5倍の早さで利用者の方々は時を駆け抜けていることになる。

だからこそ、一瞬一瞬が『貴重』なのだとも思う。その一瞬を大切に考えていくことが、僕たちの仕事には求められているのだ。